

仲間づくり
 生きがいづくり
 大好きひたちづくり
 シニアライフを
 豊かに生きるために

熟年

JNH

熟年ネット・ひたち
 (J-net)

注目される私たちの活動

最近、東海村、常陸太田市の社会福祉協議会、茨城県県北生涯学習センターなどより主として定年退職者を対象とした講演依頼があり、また、埼玉県地区では「シニア地域入門講座」類似の講座が開かれている。

その理由は、定年退職者が地域活動に参加する動機付けをするためである。定年退職者の活動を新聞・ホームページなどで調べ、自主(主としてボランティア)活動で実績のあるJ-netが注目されているようである。

常陸太田市の「登録ボランティア研修会」で講演



常陸太田市社会福祉協議会・常陸太田市主催の登録ボランティア研修会は、常陸太田市生涯学習センターふれあいホールで行われた。舞台には演題と講師名が書かれた大きな垂れ幕が下り本研修に対する期待の大きさが感じられた。

講演は、掛札代表の「仲間づくり生きがいづくり」と小林「私たちおもちやの病院」院長の活動紹介と合わせて2時間。

参加者は約150名。講演および事例紹介は、J-netのような活動が広がることを願って後日のご協力も約束した。

出席者から、10年を超える活動実績を踏まえた内容であり大変参考になった。今後の活動に活かしたいとの声がかかれた。

その他の主な講演依頼

5月24日(土) 東海村ボランティア連絡協議会総会
 「シニアライフを豊かに生きる」
 (掛札代表)

7月26日(土) 茨城県県北生涯学習センター
 「自分らしく生きる」(掛札代表)

活動活力の源泉は

「シニア地域入門講座」

平成7年1月発足以来、創設の理念「シニアライフを豊かに生きる」、基本方針「仲間づくり、生きがいづくり、大好きひたちづくり」を忠実に守り、活発に活動していることを評価されていることである。一つの市民活動グループ(J-net)から多くのボランティア活動が生れている例は少なく、日立市社会福祉協議会の評価も高い。これらは、会員の努力と地域の方たちのご理解の結果であるが、「シニア地域入門講座」の貢献を忘れてはならない。

身近な会員の楽しそうな自主活動に生きがいを見出し、「シニア地域入門講座」で学んだ方たちが毎年入会し新鮮な刺激を与えてくれる。この仕組みが続くJ-netの前途は明るい。

「シニア地域入門講座」は平成12年に、講座であれば参加しやすく、受講中にJ-netをある程度理解して入会するので定着率も良いだろう、また、同期入会者がいれば相談などもしやすくだろうとの考えで始めたが、結果はほぼ予想とおりで、現会員の90%強がシニア講座受講者であることがそれを裏付けている。

「シニア地域入門講座」

20年度の実施状況

現在行っている講座は通算9回目、日立市社会福祉協議会との共催としてから2回目を迎えた。受講者は10名、「仲間づくり」に重点をおき、相互交流を図っている。

講座はすでに10講座中の6回を終了し、初めて知ったことの多さに驚きながら、大変なごやかで出席率も良く、明るく楽しく進んでいる。



第6回「日立再発見」日鉦記念館見学



楽習会



日立市消防本部新庁舎の見学 (5/8)

防災機能の強化を目指して旧桐木田市民広場に今年2月に完成した日立消防本部新庁舎を、会員30名の参加者を得て見学した。新庁舎は、中国四川大地震でも対応できる免震構造を採用し、火災はもちろん災害対策支援機能、防災備蓄倉庫、ヘリポート、耐震性貯水槽などを完備した県内で最も優れた消防署である。

同署は消防法の改定により、6月1日から一般住宅に火災警報器設置が義務づけられたことから、この広報活動にも取り組んでいる。新庁舎が、「市民の安全と暮らしを守る日立消防拠点施設」として最新鋭の機能を備えているのを実地見学ができ、安心すると同時に日頃の生活で消防や救急の世話にならぬよう気をつけたいと感じた。

(田代 文夫)



近隣市町村を探訪:東海村 (5/23)

26名で東海村を訪問し、原子力施設と文化遺産を見学した。同村は日本の原子力発祥の地で、たくさんの施設があり、“原子力施設巡回見学バス”を利用して「アトムワールド」、「東海テラパーク」、「原子力科学館」などを見て廻った。地球温暖化対策の面からも原子力発電は必要不可欠のものであり、その安全性を如何に重視しているかなどをあらためて学ぶことができた。また歴史的にも貴重な文化遺産があり、日本三体の一つ「村松虚空蔵尊」、西暦700年に創立の「村松大神宮」、徳川斉昭自筆の「村松晴嵐の碑」、6世紀中頃の「権現山古墳」などを参拝および、見学をした。

「村松晴嵐の碑」は奥まったところにあり、訪れたことのある会員は少なかつたようで、これを契機に水戸八景を見て回ろうという声も出た。

(桑名 勇児)



井戸端会議 (第一回) (6/12)

番号札お菓子、お茶と準備の忙しい当番です。小林さんに手の体操を依頼しまして、歌を取るか手を取るか自分の年を感じながら挑戦しましたが大事なことでしょね。23名出席で課題なく各班にお任せでしたが、現在の生活面からのガソリン、食品と環境問題から経済問題そして自分たちの死まで討論内容が膨らんでいきました。最後に各班の討論内容を発表いただきました。発表者ご苦労様でした。(鈴木 敏子)

環境問題を考える (6/26)

市環境政策課の長島課長に、地球環境問題について環境省発行の『こども環境白書』により大変わかりやすくご説明いただきました。出席者30名。

私たちは、エコバックの使用、省エネ、ごみの分別などは実施していますが、気候温暖で異常気象の影響も少ない地に住んでいるので、温暖化などによる食糧危機、台風の巨大化、絶滅する生き物の急増などまだまだ考えが甘いのではないかと思います。電気・水道・ガスなど容易に使い、簡単に物が入手できる便利な環境にいますが、その便利さは地球環境破壊につながっており、一人ひとりのさらなる努力の大切さを改めて痛感した有意義な楽習でした。(掛札 優)



日帰りバス旅行 (7/10)

37名の参加を得、楽しい見学旅行が出来た。交通渋滞もなく、予定より早く国会議事堂に到着。大島議員秘書の出迎えを受け、国会議事堂の歴史、議会運営等の話を聞きながら見学。予定外の憲政記念館、普段は見ることのできない大島議員の執務部屋も見学。

議員会館で昼食後靖国神社へと向かい記念撮影。それぞれの思いで遊就館を見学。明治神宮から表参道ヒルズの新しい街並みを散策と買い物で楽しんだ。

帰りの車中はビール、お酒で喉を潤しヒルズでの出来事などを交えたそれぞれの思い出話と感想を聞き和気藹々のうち無事日立に到着した。

(岩本 浩)



最近の悪質商法 (7/24)

市消費生活センター相談員の長岡さんに、最近の悪質商法をお話、ビデオでわかり易くご説明いただいた。

- ・振り込め詐欺：10万円以下をATMで振り込ませる。
- ・架空請求詐欺：ハガキ等を利用日立で何10件もある。
- ・融資保証金詐欺：最初少ない金額で振り込ませ徐々に金額を大きくしていく。
- ・「円天」(健康食品販売等)。
- ・「ロコ・ロンドン取引」(投資商品の販売)。
- ・何度か通わせ、最終的に高い商品を買わせる餌付け商法も多くなっている。

日立市でも多くの事例が発生しているとのことで、新しい手口に用心するためにも参考になる楽習会でした。22名が参加した。(堀 三男)



ボランティア・自主活動

ハーモニーフレズ

健康づくり
ボランティア活動

高齢化が進むなかで健康で長生きすることを誰もが望んでいます。各地区交流センターのふれあい健康クラブで、軽い運動を行い健康保持に努めていますが、その運動の後にハーモニカ演奏にあわせてナツメロを皆で楽しく声を出して歌って脳の活性化をしています。

その活動の中でこんな事がありました。5月26日行った「はまぎく荘」での滑川地区健康クラブ「さんあいクラブ」で、アンコール演奏のとき楽しさのあまり踊り出した方がいたり、ご主人も以前はハーモニカを演奏していたが、「不自由でなければ同じように出来たのに」と、ご主人をかわいそうに思い涙を流している方がいたりしています。健康づくり活動に少しは役立っていることを実感しているこの頃です。



(鈴木 重四郎)

なるてす会

皆様のご協力に感謝



本年第1回を6月12日開催し、短い時間であったが衣料品を中心に協力を頂いた。第2回は7月20日「ひたち環境都市フェスタ 2008」に出店した。6月から準備を重ね、皆さんからの夏衣料、雑貨、小物鉢物、文庫本等をテーブル一杯に並べ低価格に徹した方法で販売し市民の皆さんに買って頂いた。多くのJ-netの方々に激励と提供を頂き勇気づけられ、市民の皆さんとも会話を楽しみ、一方低価格社会の定着化を強く感じた。(藤崎 圭一郎)

ウオーク会

元気に！健康に！

ウオーク会は今年度から、メンバー登録制として15人で再スタートした。4月「石尊山ハイク」5月「海浜公園ウオーク」6月「太田町屋宿探索」と月1回ペースで実施してきた。7月には「高萩溪谷散策」を実施。一度行った場所でも、車で通ると歩くとは、目に入る景色は自ずと違ってくる。自分の足で歩くことで、新たな発見ができる楽しみがあることがわかった。興味のある方、一緒に歩きましょう。なお、8月はお休みです。(山本 三男)

郷土ひたち・ネット

環境都市フェスタ出展

7月19～20日の2日間開かれた「ひたち環境都市フェスタ 2008」に、花樹の会と共同で「大煙突物語・日立のさくら物語」のパネルを出展した。某社の幹部の方は、大煙突物語は小学校の教科書に載せる価値があると云われた。特筆すべきは岡山県よりお出でになった旅行者で、近くの愛媛県の別子鉱山の煙害対策と比較して、煙害を絶滅させ緑を甦らせた日立鉱山の対策に感嘆し、その結果生まれた平和通りのさくらを良く見てみますと云ってお帰りになられた。(掛札 優)

Jネット・オカリナハート



最近、外部演奏活動は毎週水、木曜日の「しおさい」以外は特に行っていないので今後の演奏に備えて練習に励んでいる。今期から練習日を毎月3回(第1、3、4金曜日)に増やしたのでメンバーの実力はさらに向上することでしょう。「しおさい」での演奏では、歌詞を掲表にしてみなさんに歌ってもらっているが、掲表が痛んできたのでこれをプロジェクターに替えることを検討している。(土屋 昭夫)

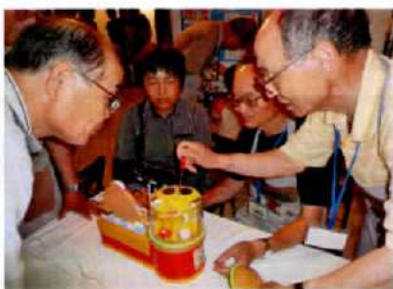
おもちゃの病院

総会后、楽しく実技研修

5月31日女性センターで本年度総会を開催し、前年度の報告と本年度の計画と予算を審議した。終了後、工作キットを題材にメカの組立とハンダ付けの実技研修を行った。個人課題が終了後、診療所毎に部品数150点前後のキットを組立し完成させた。この実習体験は今後の診療活動の信頼性に役立つものと考えている。

この完成品は7月19～20日に開催された環境フェスタで展示され、子どもたちの注目を集めた。診療活動にはお客さんから信頼がなにより、その一端であるドクターの技術研修は今後も欠かせない大事な課題であると考えている。

(小林 勇作)



グループ・ピニオン

—歌の応援—

介護スタッフ手不足の時、私達が頼まれて出動することがある。介護士女性スタッフの方々は子持ちの方も多いので、季節的な学校行事の時などどうしてもかたまって休みをとられる。私達も無理をせず出られる人が1人でも2人でも出るようにしている。

今では月曜日～金曜日までのディサービス利用者の方々の殆んど顔合わせをしたことになる。日立市内の混声合唱団メンバーの方が6月から参加、オカリナで歌う時の強力な助っ人となって下さった。美しい歌声は利用者さんからも喜ばれている。(田岡 静子)



インフォメーション



「シニア地域入門講座」(後半)

月日	内 容
8/06	豊かに生きる心を学ぶ 山口 勇氏 小野節子氏
8/20	我が街再発見 神峰公園・郷土博物館・吉田記念館
9/03	交流センター紹介 J-net 紹介
9/17	講話 閉校式

楽習会 (8~10月)

月日	楽習テーマ	場 所
8/07	井戸端会議 (第2回)	女性センター
8/28 ~29	夏季交流会	かみすわ山荘
9/11	最近の食の安全について	女性センター
9/25	男の料理教室	女性センター
10/09	井戸端会議 (第3回)	女性センター
10/23	これからの社会保障	女性センター

パソコン塾 (8~10月)

月日	学 習 内 容
8月	休み
9/13	前期の復習
9/27	Wordの学習 (Wordの基本・文字入力)
10/11	Wordの学習 (文書作成)
10/25	Wordの学習 (テキストボックス・図形の挿入)

・・ちょっといい話・・

バス停での素敵な出会い (田岡 静子)

バス停で先に待っていた人に「こんにちわ」と声をかけてベンチに座ったら、ややあって「あの…」と話しかけてこられた。私の娘のような年代の方だが、話はずんでいっているうちにバスがきた。私のJ-net用の名刺を渡してバスを降りた。

後日電話がかかかってきて訪ねてこられた。女性のグループを作って代表として活躍中で、ボランティア精神にあふれた方であった。J-netについて興味をもち「すばらしいですね」と話はずんだ。

機関紙や行事案内が届くようになり、情報交換のおつきあいが始まった。バス停での素敵な出会いである。

【編集後記】先日、「生涯学習による人づくり、まちづくり」と題した講演会があった。その中で、「創年」という造語がでて来た。それは、「自己を生かし、よりよく創り変え積極的に生きようとする生き方」を指している。そのために「7掛けの年齢」で生きることを心がけて活動しようということである。この思想は、我々「J-net」の理念と一致するところが多い。会員の年齢も年々上がりつつあるが、「7掛けの年齢」で考えるならまだ若い。「熟年」ではなく「青年」の気持ちで地域のため自分のために活動しようではありませんか。(編集子)

リレー随筆

チョイワルになりきれない今の私 加藤 勝

入会して2年目になります。退職が近づくと誰もが「その後の過ごし方についてどうするか」周りからあれこれ言われていると思います。私は地元(多賀町)生まれの地元育ち。家は製造業を営む中小企業、世間知らずのまま大人になった井の中の蛙です。これは生い立ちを心配しての有難い忠告でした。

そうこうしている内に退職し、次のことを考える間もなく、ボランティアで里山の育成に力を入れている会があることを知り、トレッキングやハイキングなど自然に親しむことが好きなので、体験してから考えようと思い参加しました。暑い日でしたが作業が終わり、一息ついた頃、ザーッと風が吹いてきて、それは何とも爽やかな風でした。これが切っ掛けです。今では入会して良かったと思っています。

また、ちょうどその頃J-netのシニアのための地域入門講座があることを知り、ちょっと覗いてみようと思い参加しました。講座が進むにつれて余りにも地域のことに無頓着だったので、大きなショックを受け興味もだんだん募っていき、その後の行事に期待するようになりました。

講座終了後、活動内容の説明があり、私にもお役に立てることがあるならばと思い参加し、これからは先輩方の背を見据え少しでも近づけるように努力して行きたいです。

私は定年退職者という言葉は好きになれません。もっとソフトな言い方はないのでしょうか?

今後は積極的に少しばかり野次馬根性を持ち、格好良いチョイワルになるつもりです。

» 事務局からのお願い «

メール開封のお願い (メール登録者)

メール登録者への行事連絡などは、経費削減のため原則としてメールで行っております。連絡を徹底するため、メールのこまめな開封をお願い致します。

また、メールアドレスの変更はその都度、事務局通達として流しておりますので、忘れずに変更処理をお願い致します。

発 行：熟年ネット・ひたち

代表世話人 掛札 優

編 集：広 報 委 員 会

住 所：〒317-0072

日立市弁天町2-12-10

Tel/Fax：0294-21-1345

E-mail：jnet-hitachi@lapis.plala.or.jp

http://www10.plala.or.jp/j-neth/